



## 2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東  
 コード番号 5724 URL http://www.asaka.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 油木田 祐策  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐久間 良一 TEL 024-944-4744  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第3四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	5,505	△30.3	48	△71.3	28	△82.0	91	△12.2
2019年9月期第3四半期	7,902	19.1	168	△50.5	157	△54.4	104	△58.9

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 119百万円 (8.8%) 2019年9月期第3四半期 109百万円 (△58.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	35.96	35.90
2019年9月期第3四半期	40.74	40.66

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第3四半期	6,875	3,077	44.7	1,217.89
2019年9月期	6,262	3,035	48.4	1,185.65

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 3,071百万円 2019年9月期 3,029百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2020年9月期	-	0.00	-	-	-
2020年9月期（予想）	-	-	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による当社業績への影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定とし、記載しておりません。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	2,572,300株	2019年9月期	2,572,300株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	50,225株	2019年9月期	17,225株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	2,540,418株	2019年9月期3Q	2,555,134株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による当社業績への影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績を背景に緩やかな改善が続いたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により景気は急激に悪化し、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループにおいては、中国経済の減速、米中貿易摩擦や前述の新型コロナウイルス感染症の影響による取引先の減産により、貴金属取扱数量は前期を下回りました。また、2019年10月に発生した台風19号による水害により、環境事業の一部製品を生産する富久山工場が水没したこと等により、環境事業の製品販売数量は前期を下回りました。なお、操業を停止しておりました富久山工場は、4月から操業を再開し5月に復旧を完了しております。主要製品の価格は、貴金属価格が主に米国の金利政策や新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による实体经济の減速懸念により前期を上回り、銅の価格は中国経済の減速等により前期を下回りました。現時点では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が重要な影響を与えるものではありませんが、今後の事業環境については、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況が続いていることから、当社グループの主要な取引先である電子部品・デバイスメーカーの生産に影響の大きい自動車や電子機器業界の先行きは不透明な状況です。

このような事業環境のもと、当社グループは電子部品・デバイスメーカーの生産回復期において、いち早く市場ニーズに応えることが出来るよう、これまで進めてきた企業体質強化の取り組みを継続するとともに、レアメタル事業の収益化に注力してまいります。レアメタル事業では、将来の市場拡大が見込まれるリチウムイオン二次電池の材料に使用されるレアメタルのリサイクル技術の開発を進めるとともに、現在は二次電池材料メーカー等で評価試験を進めております。引き続き技術開発と量産体制構築を進め、早期事業化に向けた取り組みを加速してまいります。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は5,505百万円（対前年同四半期30.3%減）、営業利益は48百万円（同71.3%減）、経常利益は28百万円（同82.0%減）となりました。減収減益の主な要因は、撤退を決定した海外子会社での売上減、前述の貴金属事業における主要取引先の減産影響、台風19号の水害によります。親会社株主に帰属する四半期純利益は91百万円（同12.2%減）、特別利益に台風被害による保険金462百万円を計上し、特別損失に当第3四半期連結累計期間末時点での台風被害による復旧費用及び海外子会社の撤退に関する費用等を373百万円計上しております。

各セグメントの業績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額はセグメント間取引を含んでおります。

## (貴金属事業)

売上高は5,042百万円（対前年同四半期30.3%減）、セグメント利益は87百万円（同15.0%減）となりました。主な減少要因は、撤退を決定した海外子会社の売上減、主要取引先の減産による貴金属の取扱数量の減少です。

## (環境事業)

台風19号による水害の影響で売上高・利益ともに前年を下回り、売上高は371百万円（同36.5%減）、セグメント損失は51百万円（前年同四半期は42百万円の利益）となりました。なお、被害のあった富久山工場は4月より操業を再開し、5月に復旧を完了しております。

## (システム事業)

品質管理システムの販売が増加、販促費の増加により、売上高は83百万円（対前年同四半期25.6%増）、セグメント利益は3百万円（同53.2%減）となりました。

## (その他)

その他に含まれる運輸事業等は、台風被害により連結グループ内の受注が減少し、売上高は167百万円（同12.2%減）、セグメント損失は11百万円（前年同四半期は3百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて613百万円増加し、6,875百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が552百万円、土地が122百万円増加し、棚卸資産が87百万円減少したことです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて570百万円増加し、3,798百万円となりました。

主な要因は、借入金が335百万円、社債が130百万円、その他流動負債が137百万円増加したことです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて42百万円増加し、3,077百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が53百万円、その他有価証券評価差額金が24百万円増加し、自己株式取得により38百万円減少したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難であるため未定としております。世界的な自動車販売台数の減少や電子機器市場の停滞は、当社の主要な取引先である電子部品・デバイスメーカーの生産に影響し、貴金属取扱量の減少から当社業績を押し下げる要因になると予想しております。未定としている業績予想につきましては、取引先の生産動向を注視しながら、算定が可能となった時点で公表いたします。

なお、2020年9月期の配当につきましては、2019年11月8日に公表した金額から変更はありません。期末配当として1株当たり15円を予定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,250,962	1,803,857
受取手形及び売掛金	319,691	349,010
電子記録債権	12,094	19,527
商品及び製品	646,400	661,389
仕掛品	484,131	434,649
原材料及び貯蔵品	208,493	155,343
その他	84,572	133,891
流動資産合計	3,006,347	3,557,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,376,523	2,359,766
減価償却累計額	△1,212,899	△1,242,938
建物及び構築物（純額）	1,163,623	1,116,828
機械装置及び運搬具	2,542,626	2,327,588
減価償却累計額	△2,150,845	△1,971,437
機械装置及び運搬具（純額）	391,780	356,151
土地	1,240,067	1,362,987
リース資産	29,559	29,559
減価償却累計額	△26,159	△27,794
リース資産（純額）	3,399	1,764
建設仮勘定	93,216	92,002
その他	206,957	193,792
減価償却累計額	△182,492	△173,426
その他（純額）	24,464	20,365
有形固定資産合計	2,916,551	2,950,100
無形固定資産	49,360	41,717
投資その他の資産		
投資有価証券	56,741	91,302
繰延税金資産	—	709
退職給付に係る資産	89,614	87,502
その他	144,314	147,002
貸倒引当金	△350	△350
投資その他の資産合計	290,320	326,166
固定資産合計	3,256,231	3,317,984
資産合計	6,262,579	6,875,653

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	163,288	146,786
短期借入金	1,117,359	1,560,652
リース債務	2,354	1,835
未払法人税等	10,413	17,655
借入金地金	392,120	391,752
賞与引当金	94,328	53,919
災害損失引当金	—	1,611
圧縮未決算特別勘定	—	7,738
その他	157,740	295,094
流動負債合計	1,937,604	2,477,046
固定負債		
社債	200,000	330,000
長期借入金	679,232	571,446
リース債務	1,247	—
繰延税金負債	125,036	135,615
長期未払金	225,112	228,400
資産除去債務	50,004	48,816
その他	9,156	7,030
固定負債合計	1,289,789	1,321,308
負債合計	3,227,393	3,798,355
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	354,211	354,211
利益剰余金	2,160,219	2,213,238
自己株式	△9,671	△48,443
株主資本合計	3,009,055	3,023,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,461	47,568
繰延ヘッジ損益	△6,976	△5,386
為替換算調整勘定	4,322	5,737
退職給付に係る調整累計額	△434	379
その他の包括利益累計額合計	20,373	48,299
新株予約権	1,328	1,328
非支配株主持分	4,428	4,367
純資産合計	3,035,185	3,077,298
負債純資産合計	6,262,579	6,875,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	7,902,394	5,505,738
売上原価	6,692,592	4,478,642
売上総利益	1,209,802	1,027,095
販売費及び一般管理費	1,041,438	978,730
営業利益	168,364	48,365
営業外収益		
受取利息	218	57
受取配当金	1,428	176
受取賃貸料	3,626	3,433
受取補償金	—	10,075
受取和解金	22,000	—
その他	7,264	5,707
営業外収益合計	34,538	19,451
営業外費用		
支払利息	13,961	15,085
地金借入料	7,508	10,807
為替差損	17,879	8,311
その他	6,125	5,224
営業外費用合計	45,475	39,428
経常利益	157,427	28,388
特別利益		
受取保険金	—	462,578
特別利益合計	—	462,578
特別損失		
固定資産除却損	5,695	873
災害による損失	—	295,073
災害損失引当金繰入額	—	1,611
関係会社整理損	—	75,800
投資有価証券評価損	520	—
特別損失合計	6,215	373,358
税金等調整前四半期純利益	151,211	117,607
法人税、住民税及び事業税	17,169	27,489
法人税等調整額	30,096	△1,166
法人税等合計	47,265	26,322
四半期純利益	103,945	91,284
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△139	△60
親会社株主に帰属する四半期純利益	104,085	91,345

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	103,945	91,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,785	24,107
繰延ヘッジ損益	△2,711	1,589
為替換算調整勘定	12,102	1,414
退職給付に係る調整額	1,029	814
その他の包括利益合計	5,635	27,926
四半期包括利益	109,581	119,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,629	119,271
非支配株主に係る四半期包括利益	△48	△60

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,237,154	584,064	66,701	7,887,920	14,473	7,902,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	120	—	120	176,689	176,809
計	7,237,154	584,184	66,701	7,888,041	191,163	8,079,204
セグメント利益	103,360	42,828	7,861	154,050	3,376	157,427

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等でありま  
す。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,042,225	370,954	83,799	5,496,979	8,759	5,505,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	126	—	126	159,134	159,261
計	5,042,225	371,081	83,799	5,497,105	167,893	5,664,999
セグメント利益又は 損失(△)	87,856	△51,897	3,682	39,641	△11,252	28,388

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等でありま  
す。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。